

## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（一般研究）

研究代表者 所属・職名 自然・生活教育学系・教授

氏 名 小林 辰至

研究期間 平成28年度～平成29年度

研究プロジェクトの名称	教科教育カリキュラム構想のための基礎的研究 －「21世紀を生き抜くための能力」の「思考力」と 教科固有の見方・考え方の観点から－
研究プロジェクトの概要	平成27年度に本学が発行した『「21世紀を生き抜くための能力」の「思考力」の捉え方（内部資料）』において各教科が示した教科固有の思考力を、中教審総則・評価特別部会が示した「各教科等ならではの思考の枠組み」のキーワードを対応させて整合させることを第一の目的としている。 また、「各教科等ならではの思考の枠組み」を働かせて育成する資質・能力の具体について、教育内容・指導法・評価方法を示すことを第二の目的としている。そして、それらの考え方を実際の授業（各教科指導法）に生かしたり、附属学校園や地域の学校において、発信することを目指す。
研究成果の概要	平成28年度 ①各教科における見方・考え方について教科ごとに検討し、意見交換を重ねながら、各教科の見方・考え方の理解を深めた。 ②各教科で育成する資質・能力を『「21世紀を生き抜くための能力」の「思考力」の捉え方（内部資料）』から抽出・再検討を加えて、各教科で育成する資質・能力を整理した。 ③各教科における見方・考え方を他教科にどのように働かせると、教科横断的に資質・能力を育成できるのかについて構造図を作成した。 平成29年度 ①研究分担者を「教科横断的教材開発研究グループ」「教科横断的理論・歴史研究グループ」「教科教育学方法論研究グループ」の3つのグループに分け、グループごとに研究を進めた。 ②各教科における見方・考え方と、教科横断的に問題解決する資質・能力をどのように育成するか、そのためのカリキュラムについて検討し、具体的な授業内容・方法・評価など、それぞれ今後の大学の授業に反映させた。
研究成果の発表状況	『「思考力」を育てる -上越教育大学からの提言1』上越教育大学出版会 『「実践力」を育てる -上越教育大学からの提言2』上越教育大学出版会 『「思考力」が育つ教員養成 上越教育大学からの提言3』 〃 『「実践力」が育つ教員養成 上越教育大学からの提言4』 〃
学校現場や授業への研究成果の還元について	本学附属小・中学校の研究会において、本プロジェクトの分担者の多くが指導者・助言者として関わり、各教科における見方・考え方と教科横断的な考え方・教育内容について述べている。また、公立の小・中学校においても同様な発信を行い、教育現場に研究成果の還元を行ってきた。